

伝統文化の源流に触れる

開催日：2019年7月7日(日)

■12:30～開場 ■13:00～開演 ■15:30終了予定 ■会場：国立文楽劇場・小ホール

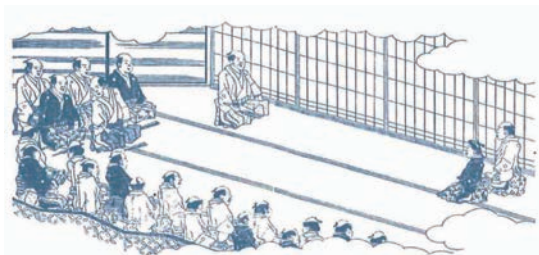
「Nobody grows old merely by a number of years. We grow old by deserting our ideals.」

Samuel Ullman 「Youth」原詩より抜粋

「年を重ねただけで人は老いない。理想を失う時に初めて老いがくる。」

サミュエル・ウルマン「青春」(「Youth」) 岡田義夫訳より抜粋

<第1部> 能へのいざない その1 ～花は心 種は態(わざ)なるべし～



「庶民の娯楽と嗜み、朗読劇としての謡曲の魅力」

素謡(抜粋)／「井筒」

出演 / 吉浪 壽晃氏、寺澤 幸祐氏、寺澤 拓海氏

皆様は謡(うたい)をご存じでしょうか。600年以上の歴史を有し、世界に誇る伝統芸能「能」の詞章である「謡」は、古くから人々の娯楽・教養として広く親しまれております。声で情景を表現する「謡曲」は、『源氏物語』や『平家物語』などの古典文学を題材にした名作も多く、その詞章の美しさはすばらしいものと言えます。お腹から声を発して美しい詞を謡うことは、健康増進にも非常に役立つものと言えます。

江戸時代以降、関西では京都を中心に「京観世」と言われる独特の謡が発達しました。この京観世の歴史にもアプローチし、謡の魅力をお楽しみいただけます。

<第2部> 能へのいざない その2



シテ方観世流能楽師
吉浪 壽晃 氏

「劇としての能、夢幻能と現在能」

能(半能)／「橋弁慶」

出演 / シテ(武蔵坊弁慶)：吉浪 壽晃氏、子方(牛若丸)：吉浪 絢音氏、
笛：赤井 要佑氏、小鼓：上田 敦史氏、大鼓：森山 泰幸氏、
地謡：寺澤 幸祐氏、地謡：寺澤 拓海氏

歌舞劇・音楽劇である「能」は、夢の中の物語として描かれる「夢幻能」と登場人物が現実の人間である「現在能」とに大別されます。牛若丸(後の源義経)と武蔵坊弁慶との出会いを描いた能「橋弁慶」の鑑賞を中心に、「能」という「劇」を体感していただけます。



- 会場／国立文楽劇場小ホール(大阪市中央区日本橋1-12-10)
最寄駅：堺筋線・千日前線「日本橋」駅下車 7番出口より徒歩1分
- 参加無料
事前にハガキもしくはメールに住所・氏名・電話番号をご記入の上、下記までお申し込みください。
- 主催・連絡先／一般社団法人老人文化会議
(〒550-0006大阪市西区江之子島1-7-3)
TEL:06-6444-2777 E-mail:info@eldernets.or.jp

※お送りいただいた個人情報はこのイベントおよび、当法人が今後開催するイベントの際にのみ使用させていただきます。